

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学感染制御学講座では、福島県立医科大学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 3月

福島県立医科大学感染制御学講座 山藤栄一郎

■ 研究課題名

人工知能を活用したリケッチア感染症の血清学的診断法の開発

■ 研究期間

2024年3月 ～ 2027年3月

■ 研究の目的・意義

リケッチア感染症はリケッチアという病原体が原因の病気です。リケッチア感染症の診断方法の一つに血清診断という方法があり、これは薬品を用いて対象者の血液成分と病原体との反応を発色させることで目に見えるようにする方法です。これまではこの発色の有無の判定を人間の目で行ってきました。この研究は、人工知能(AI: エーアイ)を用いてこの判定を客観的に行うための研究です。

■ 研究対象となる方

2000年4月～2026年8月に福島県立医科大学感染制御学講座、福島県立医科大学総合内科・臨床感染症学講座/糖尿病内分泌代謝内科・総合内科・臨床感染症学講座（北福島医療センター内）で診療のために血清診断（間接免疫蛍光抗体法または間接免疫ペルオキシダーゼ法）が行われた方、下記の研究に参加された方が対象です。

新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業 ダニ媒介性感染症の総合的な対策に向けた研究（承認番号：一般 2021-152）、ヤマビルやダニの吸血被害とリケッチア症の抗体保有率に関する研究（承認番号：一般 2022-190）

■ 研究の方法

対象となる方のリケッチア感染症血清診断（間接免疫蛍光抗体法または間接免疫ペルオキシダ

ーゼ法）の画像データを収集します。収集した画像データを、人工知能の学習用データまたは実用性検証用のデータとして使用します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年3月21日

■ 研究組織

この研究の研究機関と研究責任者、および既存試料・情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学感染制御学講座で利用し解析を行います。

【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学感染制御学講座 教授 山藤栄一郎
既存試料・情報の提供のみを行う機関	秋田県健康環境センター保健衛生部 ウイルスチーム 樫尾拓子

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関などへの試料・情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

公立大学法人福島県立医科大学感染制御学講座

担当：安田一行

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024-547-1348

e-mail : ikkoh@fmu.ac.jp